

訂正箇所

金抜設計書

誤

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
13	8 - ( 1 )	コンクリート B 2 - 1 C	1,518	m <sup>3</sup>			
14	8 - ( 1 )	コンクリート D 1 - 1	145	m <sup>3</sup>			
15	8 - ( 2 )	型わく C	5,070	m <sup>2</sup>			
16	8 - ( 2 )	型わく D	87	m <sup>2</sup>			
17	8 - ( 3 )	鉄筋 A	602.91	t			
18	8 - ( 3 )	鉄筋 A 1	108.76	t			
19	8 - ( 3 )	鉄筋 B	7.70	t			
20	8 - ( 3 )	鉄筋 C	97.12	t			
21	8 - ( 3 )	鉄筋 Y	186.88	t			
22	17 - (31)	はく落防止対策工 A	40	m <sup>2</sup>			
23	特 - ( 1 )	鋼管杭工 鋼管杭 φ 8 0 0	14,280	m			
24	特 - ( 2 )	鞘管工 鞘管工A	2	箇所			

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
25	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工A 設置工	72.17	t			
26	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工A 存置工	465	日			
27	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工B 設置工	51.89	t			
28	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工B 存置工	420	日			
29	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工B 撤去工	51.89	t			
30	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工C 設置工	49.02	t			
31	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工C 存置工	210	日			
32	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工C 撤去工	49.02	t			
33	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工D 設置工	46.66	t			
34	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工D 存置工	360	日			
35	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工E 設置工	231.67	t			
36	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工E 存置工	360	日			

正誤区分

正

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
13	8 - ( 1 )	コンクリート B 2 - 1 C	1,518	m <sup>3</sup>			
14	8 - ( 1 )	コンクリート D 1 - 1	145	m <sup>3</sup>			
15	8 - ( 2 )	型わく C	5,070	m <sup>2</sup>			
16	8 - ( 2 )	型わく D	87	m <sup>2</sup>			
17	8 - ( 3 )	鉄筋 A	602.91	t			
18	8 - ( 3 )	鉄筋 A 1	108.76	t			
19	8 - ( 3 )	鉄筋 B	7.70	t			
20	8 - ( 3 )	鉄筋 C	97.12	t			
21	8 - ( 3 )	鉄筋 Y	186.88	t			
22	17 - (31)	はく落防止対策工 A	40	m <sup>2</sup>			
23	特 - ( 1 )	鋼管杭工 鋼管杭 φ 8 0 0	14,132	m			
24	特 - ( 2 )	鞘管工 鞘管工A	2	箇所			

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
25	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工A 設置工	72.17	t			
26	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工A 存置工	465	日			
27	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工B 設置工	51.89	t			
28	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工B 存置工	420	日			
29	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工B 撤去工	51.89	t			
30	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工C 設置工	49.02	t			
31	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工C 存置工	210	日			
32	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工C 撤去工	49.02	t			
33	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工D 設置工	46.66	t			
34	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工D 存置工	360	日			
35	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工E 設置工	234.26	t			
36	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工E 存置工	360	日			

訂正箇所	誤							正									
金抜設計書	単 価 表																
	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要	
	37	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工F 設置工	402.77	t				37	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工F 設置工	404.22	t				
	38	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工F 存置工	150	日				38	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工F 存置工	150	日				
	39	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工F 撤去工	359.34	t				39	特 - ( 3 )	仮橋工 仮橋工F 撤去工	359.34	t				
	40	特 - ( 4 )	擁壁工 L型擁壁 H＝2.0m	155	m				40	特 - ( 4 )	擁壁工 L型擁壁 H＝2.0m	155	m				
	41	特 - ( 5 )	週休2日推進に係る補正額	1	式				41	特 - ( 5 )	週休2日推進に係る補正額	1	式				
	42	特 - ( 7 )	率計上工事に関する事項	1	式				42	特 - ( 7 )	率計上工事に関する事項	1	式				
			計①								計①						
	43		諸経費①	1	式				43		諸経費①	1	式				
	44	特 - ( 6 )	週休2日推進に係る諸経費額	1	式				44	特 - ( 6 )	週休2日推進に係る諸経費額	1	式				
			小 計								小 計						
			消費税及び地方消費税相当額								消費税及び地方消費税相当額						
			合 計								合 計						

訂正箇所	正誤区分	
	誤	正
特記仕様書 目次	目次	目次
	<div>1. 工事概要 . . . . . 1</div> <div>2. 適用する共通仕様書 . . . . . 1</div> <div>3. 監督員、主任補助監督員の権限 . . . . . 1</div> <div>4. 配置技術者に関する事項 . . . . . 1</div> <div>5. 工事用地等に関する事項 . . . . . 3</div> <div>6. 自工区外盛土場及び土砂の仮置場に関する事項 . . . . . 3</div> <div>7. 関連施設その他との関係 . . . . . 4</div> <div>8. 作業日及び作業期間に関する事項 . . . . . 6</div> <div>9. 関連工事に関する事項 . . . . . 6</div> <div>10. 初期点検の実施 . . . . . 7</div> <div>11. 工事費構成内訳書に関する事項 . . . . . 7</div> <div>12. 工程表及び履行報告に関する事項 . . . . . 8</div> <div>13. 工事用道路に関する事項 . . . . . 8</div> <div>14. 工事用材料に関する事項 . . . . . 10</div> <div>15. 保安に関する事項 . . . . . 10</div> <div>16. 環境保全に関する事項 . . . . . 14</div> <div>17. 再生資源及び建設副産物に関する事項 . . . . . 14</div> <div>18. 部分引渡し及び部分使用に関する事項 . . . . . 15</div> <div>19. 現場環境改善に関する事項 . . . . . 16</div> <div>20. 三者協議会に関する事項 . . . . . 16</div> <div>21. 工事変更等検討会の設置 . . . . . 17</div> <div>22. 週休2日推進工事 . . . . . 17</div> <div>23. 工事細部に関する事項 . . . . . 18</div> <div>24. 割掛対象表の項目に示す工事の内容 . . . . . 30</div> <div>25. 補足事項 . . . . . 30</div>	<div>1. 工事概要 . . . . . 1</div> <div>2. 適用する共通仕様書 . . . . . 1</div> <div>3. 監督員、主任補助監督員の権限 . . . . . 1</div> <div>4. 配置技術者に関する事項 . . . . . 1</div> <div>5. 工事用地等に関する事項 . . . . . 3</div> <div>6. 自工区外盛土場及び土砂の仮置場に関する事項 . . . . . 3</div> <div>7. 関連施設その他との関係 . . . . . 4</div> <div>8. 作業日及び作業期間に関する事項 . . . . . 6</div> <div>9. 関連工事に関する事項 . . . . . 6</div> <div>10. 初期点検の実施 . . . . . 7</div> <div>11. 工事費構成内訳書に関する事項 . . . . . 7</div> <div>12. 工程表及び履行報告に関する事項 . . . . . 8</div> <div>13. 工事用道路に関する事項 . . . . . 8</div> <div>14. 工事用材料に関する事項 . . . . . 10</div> <div>15. 保安に関する事項 . . . . . 10</div> <div>16. 環境保全に関する事項 . . . . . 14</div> <div>17. 再生資源及び建設副産物に関する事項 . . . . . 14</div> <div>18. 部分引渡し及び部分使用に関する事項 . . . . . 15</div> <div>19. 現場環境改善に関する事項 . . . . . 16</div> <div>20. 三者協議会に関する事項 . . . . . 16</div> <div>21. 工事変更等検討会の設置 . . . . . 17</div> <div>22. 週休2日推進工事 . . . . . 17</div> <div>23. 工事細部に関する事項 . . . . . 18</div> <div>24. 割掛対象表の項目に示す工事の内容 . . . . . 30</div> <div>25. 補足事項 . . . . . 31</div>

訂正箇所

特記仕様書  
7. 関連施設  
その他の関係  
(2) 規制関係  
P5

誤

STA 208+40付近	市道434号線	茨城県坂東市	
STA 209+40付近	市道430号線	茨城県坂東市	
STA 210+80付近	市道429号線	茨城県坂東市	
STA 211+80付近	市道410号線	茨城県坂東市	
STA 211+80付近	市道141号線	茨城県坂東市	
STA 212+50付近	認定外道路(堤防道路)	茨城県坂東市	
STA 212+80付近	歩行者専用道路	茨城県坂東市	
STA 213+30付近	県道135号線	茨城県境工事事務所	
STA 215+60付近	市道188号線	茨城県坂東市	
STA 218+40付近	市道189号線	茨城県坂東市	

(2) 規制関係

道路及び位置	管理者名	摘 要
市道434号線 (STA 208+40付近)	茨城県警察境警察署	道路閉鎖
市道430号線 (STA 209+40付近)	茨城県警察境警察署	交通規制
市道410号線 (STA 211+80付近)	茨城県警察境警察署	交通規制
市道141号線 (STA 211+80付近)	茨城県警察境警察署	道路閉鎖
歩行者専用道路 (STA 212+80付近)	茨城県警察境警察署	道路閉鎖
市道141号線 (STA 218+40付近)	茨城県警察境警察署	道路閉鎖

(3) 河川・(水路)関係

位 置	河川・(水路)名	管理者名	摘 要
STA 209+80～ STA 212+20付近	立川排水路	立川土地改良区	
STA 212+80付近	西仁連川	茨城県境工事事務所	一級河川
STA. 218+80付近	飯沼川	茨城県境工事事務所	一級河川

(4) 電力、通信施設関係

位 置	路線・施設名	管理者名	摘要
STA 209+60付近	電柱・電力線、電話線 (架空線)	東京電力パワークリット(株) 東日本電信電話(株)	令和4年8月迄に発注者で移設予定
STA 209+30 ～209+60付近	電力線、電話線 (埋設)	東京電力パワークリット(株) 東日本電信電話(株)	令和4年8月迄に発注者で移設予定
STA 211+60付近	電柱・電力線 (架空線)	東京電力パワークリット(株)	令和4年11月迄に発注者で移設予定
STA 211+60 ～STA 211+70付近	電力線(埋設)	東京電力パワークリット(株)	令和4年11月迄に発注者で移設予定
STA 215+60 ～STA 217+00付近	電柱・電力線 (架空線)	東日本高速道路(株)	令和4年8月迄に発注者で移設予定

前項(4)の撤去移設(仮移設を含む)は発注者が行う。ただし、受注者の施工上の理由から再移設を行う場合は、受注者の負担で行うものとする。なお、この場合、事前に再移設計画を監督員宛に提出し、承諾を得るものとする。

(5) その他

正誤区分

正

STA 208+40付近	市道434号線	茨城県坂東市	
STA 209+40付近	市道430号線	茨城県坂東市	
STA 210+80付近	市道429号線	茨城県坂東市	
STA 211+80付近	市道410号線	茨城県坂東市	
STA 211+80付近	市道141号線	茨城県坂東市	
STA 212+50付近	認定外道路(堤防道路)	茨城県坂東市	
STA 212+80付近	歩行者専用道路	茨城県坂東市	
STA 213+30付近	県道135号線	茨城県境工事事務所	
STA 215+60付近	市道188号線	茨城県坂東市	
STA 218+40付近	市道189号線	茨城県坂東市	

(2) 規制関係

道路及び位置	管理者名	摘 要
市道434号線 (STA 208+40付近)	茨城県警察境警察署	道路閉鎖
市道430号線 (STA 209+40付近)	茨城県警察境警察署	交通規制
市道410号線 (STA 211+80付近)	茨城県警察境警察署	交通規制
市道141号線 (STA 211+80付近)	茨城県警察境警察署	道路閉鎖
歩行者専用道路 (STA 212+80付近)	茨城県警察境警察署	道路閉鎖
市道189号線 (STA 218+40付近)	茨城県警察境警察署	道路閉鎖

(3) 河川・(水路)関係

位 置	河川・(水路)名	管理者名	摘 要
STA 209+80～ STA 212+20付近	立川排水路	立川土地改良区	
STA 212+80付近	西仁連川	茨城県境工事事務所	一級河川
STA. 218+80付近	飯沼川	茨城県境工事事務所	一級河川

(4) 電力、通信施設関係

位 置	路線・施設名	管理者名	摘要
STA 209+60付近	電柱・電力線、電話線 (架空線)	東京電力パワークリット(株) 東日本電信電話(株)	令和4年8月迄に発注者で移設予定
STA 209+30 ～209+60付近	電力線、電話線 (埋設)	東京電力パワークリット(株) 東日本電信電話(株)	令和4年8月迄に発注者で移設予定
STA 211+60付近	電柱・電力線 (架空線)	東京電力パワークリット(株)	令和4年11月迄に発注者で移設予定
STA 211+60 ～STA 211+70付近	電力線(埋設)	東京電力パワークリット(株)	令和4年11月迄に発注者で移設予定
STA 215+60 ～STA 217+00付近	電柱・電力線 (架空線)	東日本高速道路(株)	令和4年8月迄に発注者で移設予定

前項(4)の撤去移設(仮移設を含む)は発注者が行う。ただし、受注者の施工上の理由から再移設を行う場合は、受注者の負担で行うものとする。なお、この場合、事前に再移設計画を監督員宛に提出し、承諾を得るものとする。

(5) その他

- 5 -

訂正箇所	正誤区分																			
特記仕様書 23-2 構造物掘削 (1) P19	誤	正																		
	<table><tr><td>特殊部A（PD１１）</td><td>4) 構造物埋戻し部へ本特記仕様書6-1-2に示す番号2のⅠ期線高架下か</td></tr><tr><td>特殊部A（PD１２）</td><td>らの運搬・敷均し・締固め</td></tr><tr><td>特殊部A（PD２６）</td><td>5) 鋼矢板の引抜き、腹起し・切梁・火打ちの撤去</td></tr><tr><td>特殊部A（PD２７）</td><td>6) 水替え</td></tr></table>	特殊部A（PD１１）	4) 構造物埋戻し部へ本特記仕様書6-1-2に示す番号2のⅠ期線高架下か	特殊部A（PD１２）	らの運搬・敷均し・締固め	特殊部A（PD２６）	5) 鋼矢板の引抜き、腹起し・切梁・火打ちの撤去	特殊部A（PD２７）	6) 水替え	<table><tr><td>特殊部A（PD１１）</td><td>4) 構造物埋戻し部へ本特記仕様書6-1-2に示す番号2のⅠ期線高架下か</td></tr><tr><td>特殊部A（PD１２）</td><td>らの運搬・敷均し・締固め</td></tr><tr><td>特殊部A（PD２６）</td><td>5) 鋼矢板の引抜き、腹起し・切梁・火打ちの撤去（PD１１・PD１２</td></tr><tr><td>特殊部A（PD２７）</td><td>における空頭制限下の鋼矢板は処分を含む）</td></tr><tr><td></td><td>6) 水替え</td></tr></table>	特殊部A（PD１１）	4) 構造物埋戻し部へ本特記仕様書6-1-2に示す番号2のⅠ期線高架下か	特殊部A（PD１２）	らの運搬・敷均し・締固め	特殊部A（PD２６）	5) 鋼矢板の引抜き、腹起し・切梁・火打ちの撤去（PD１１・PD１２	特殊部A（PD２７）	における空頭制限下の鋼矢板は処分を含む）		6) 水替え
	特殊部A（PD１１）	4) 構造物埋戻し部へ本特記仕様書6-1-2に示す番号2のⅠ期線高架下か																		
	特殊部A（PD１２）	らの運搬・敷均し・締固め																		
	特殊部A（PD２６）	5) 鋼矢板の引抜き、腹起し・切梁・火打ちの撤去																		
	特殊部A（PD２７）	6) 水替え																		
	特殊部A（PD１１）	4) 構造物埋戻し部へ本特記仕様書6-1-2に示す番号2のⅠ期線高架下か																		
	特殊部A（PD１２）	らの運搬・敷均し・締固め																		
	特殊部A（PD２６）	5) 鋼矢板の引抜き、腹起し・切梁・火打ちの撤去（PD１１・PD１２																		
	特殊部A（PD２７）	における空頭制限下の鋼矢板は処分を含む）																		
	6) 水替え																			
なお、受注者の責に帰さない理由により監督員が必要と認め掘削方法を変更する必要性が生じた場合は、別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。																				
(２) 共通仕様書２－８－１に規定する構造物掘削特殊部の種別は次のとおりとする。																				
<table><tr><th>単価表の項目</th><th>掘削箇所</th><th>鋼矢板・H鋼の種別及び長さ</th><th>摘要</th></tr><tr><td rowspan="2">構造物掘削 特殊部A（AD１）</td><td rowspan="2">飯沼川高架橋 AD1</td><td>鋼矢板Ⅲ型 L=8.0m 切梁 H-300*300*10*15 L=3.95m 腹起し H-350*350*12*19 L=5.15m、L=10.87m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m 環境対策：無振動 Nmax≤20 土質区分：土砂Bを想定</td><td rowspan="2">油圧式杭 圧入引抜機</td></tr><tr><td></td></tr></table>	単価表の項目	掘削箇所	鋼矢板・H鋼の種別及び長さ	摘要	構造物掘削 特殊部A（AD１）	飯沼川高架橋 AD1	鋼矢板Ⅲ型 L=8.0m 切梁 H-300*300*10*15 L=3.95m 腹起し H-350*350*12*19 L=5.15m、L=10.87m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m 環境対策：無振動 Nmax≤20 土質区分：土砂Bを想定	油圧式杭 圧入引抜機		<table><tr><th>単価表の項目</th><th>掘削箇所</th><th>鋼矢板・H鋼の種別及び長さ</th><th>摘要</th></tr><tr><td rowspan="2">構造物掘削 特殊部A（AD１）</td><td rowspan="2">飯沼川高架橋 AD1</td><td>鋼矢板Ⅲ型 L=8.0m 切梁 H-300*300*10*15 L=3.95m 腹起し H-350*350*12*19 L=5.15m、L=10.87m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m 環境対策：無振動 Nmax≤20 土質区分：土砂Bを想定</td><td rowspan="2">油圧式杭 圧入引抜機</td></tr><tr><td></td></tr></table>	単価表の項目	掘削箇所	鋼矢板・H鋼の種別及び長さ	摘要	構造物掘削 特殊部A（AD１）	飯沼川高架橋 AD1	鋼矢板Ⅲ型 L=8.0m 切梁 H-300*300*10*15 L=3.95m 腹起し H-350*350*12*19 L=5.15m、L=10.87m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m 環境対策：無振動 Nmax≤20 土質区分：土砂Bを想定	油圧式杭 圧入引抜機		
単価表の項目	掘削箇所	鋼矢板・H鋼の種別及び長さ	摘要																	
構造物掘削 特殊部A（AD１）	飯沼川高架橋 AD1	鋼矢板Ⅲ型 L=8.0m 切梁 H-300*300*10*15 L=3.95m 腹起し H-350*350*12*19 L=5.15m、L=10.87m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m 環境対策：無振動 Nmax≤20 土質区分：土砂Bを想定	油圧式杭 圧入引抜機																	
単価表の項目	掘削箇所	鋼矢板・H鋼の種別及び長さ	摘要																	
構造物掘削 特殊部A（AD１）	飯沼川高架橋 AD1	鋼矢板Ⅲ型 L=8.0m 切梁 H-300*300*10*15 L=3.95m 腹起し H-350*350*12*19 L=5.15m、L=10.87m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m 環境対策：無振動 Nmax≤20 土質区分：土砂Bを想定	油圧式杭 圧入引抜機																	
<table><tr><td rowspan="2">構造物掘削 特殊部A（PD５）</td><td rowspan="2">飯沼川高架橋 PD5</td><td>鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 腹起し H-350*350*12*19 L=7.65m、8.35m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m、L=3.24m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定</td><td rowspan="2">電動式ハブ ロハンマ工法</td></tr><tr><td></td></tr></table>	構造物掘削 特殊部A（PD５）	飯沼川高架橋 PD5	鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 腹起し H-350*350*12*19 L=7.65m、8.35m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m、L=3.24m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法		<table><tr><td rowspan="2">構造物掘削 特殊部A（PD５）</td><td rowspan="2">飯沼川高架橋 PD5</td><td>鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 腹起し H-350*350*12*19 L=7.65m、8.35m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m、L=3.24m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定</td><td rowspan="2">電動式ハブ ロハンマ工法</td></tr><tr><td></td></tr></table>	構造物掘削 特殊部A（PD５）	飯沼川高架橋 PD5	鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 腹起し H-350*350*12*19 L=7.65m、8.35m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m、L=3.24m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法										
構造物掘削 特殊部A（PD５）			飯沼川高架橋 PD5		鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 腹起し H-350*350*12*19 L=7.65m、8.35m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m、L=3.24m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法														
構造物掘削 特殊部A（PD５）	飯沼川高架橋 PD5	鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 腹起し H-350*350*12*19 L=7.65m、8.35m 火打ち H-350*350*12*19 L=0.41m、L=3.24m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法																	
<table><tr><td rowspan="2">構造物掘削 特殊部A（PD９）</td><td rowspan="2">飯沼川高架橋 PD9</td><td>鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 切梁 H-300*300*10*15 L=7.25m、L=7.65m 腹起し H-300*300*10*15 L=8.35m、L=8.75m 火打ち H-300*300*10*15 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定</td><td rowspan="2">電動式ハブ ロハンマ工法</td></tr><tr><td></td></tr></table>	構造物掘削 特殊部A（PD９）	飯沼川高架橋 PD9	鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 切梁 H-300*300*10*15 L=7.25m、L=7.65m 腹起し H-300*300*10*15 L=8.35m、L=8.75m 火打ち H-300*300*10*15 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法		<table><tr><td rowspan="2">構造物掘削 特殊部A（PD９）</td><td rowspan="2">飯沼川高架橋 PD9</td><td>鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 切梁 H-300*300*10*15 L=7.25m、L=7.65m 腹起し H-300*300*10*15 L=8.35m、L=8.75m 火打ち H-300*300*10*15 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定</td><td rowspan="2">電動式ハブ ロハンマ工法</td></tr><tr><td></td></tr></table>	構造物掘削 特殊部A（PD９）	飯沼川高架橋 PD9	鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 切梁 H-300*300*10*15 L=7.25m、L=7.65m 腹起し H-300*300*10*15 L=8.35m、L=8.75m 火打ち H-300*300*10*15 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法										
構造物掘削 特殊部A（PD９）			飯沼川高架橋 PD9		鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 切梁 H-300*300*10*15 L=7.25m、L=7.65m 腹起し H-300*300*10*15 L=8.35m、L=8.75m 火打ち H-300*300*10*15 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法														
構造物掘削 特殊部A（PD９）	飯沼川高架橋 PD9	鋼矢板Ⅲ型 L=11.5m 切梁 H-300*300*10*15 L=7.25m、L=7.65m 腹起し H-300*300*10*15 L=8.35m、L=8.75m 火打ち H-300*300*10*15 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤3 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法																	
<table><tr><td rowspan="2">構造物掘削 特殊部A（PD１１）</td><td rowspan="2">飯沼川高架橋 PD11</td><td>鋼矢板Ⅳ型 L=21.00m、L=21.50m 切梁 H-400*400*13*21 L=8.46m、L=10.46m 腹起し H-400*400*13*21 L=9.76m、L=11.76m 火打ち H-400*400*13*21 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤5 土質区分：土砂Cを想定</td><td rowspan="2">電動式ハブ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機</td></tr><tr><td></td></tr></table>	構造物掘削 特殊部A（PD１１）	飯沼川高架橋 PD11	鋼矢板Ⅳ型 L=21.00m、L=21.50m 切梁 H-400*400*13*21 L=8.46m、L=10.46m 腹起し H-400*400*13*21 L=9.76m、L=11.76m 火打ち H-400*400*13*21 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤5 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機		<table><tr><td rowspan="2">構造物掘削 特殊部A（PD１１）</td><td rowspan="2">飯沼川高架橋 PD11</td><td>鋼矢板Ⅳ型 L=21.00m、L=21.50m 切梁 H-400*400*13*21 L=8.46m、L=10.46m 腹起し H-400*400*13*21 L=9.76m、L=11.76m 火打ち H-400*400*13*21 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤5 土質区分：土砂Cを想定</td><td rowspan="2">電動式ハブ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機</td></tr><tr><td></td></tr></table>	構造物掘削 特殊部A（PD１１）	飯沼川高架橋 PD11	鋼矢板Ⅳ型 L=21.00m、L=21.50m 切梁 H-400*400*13*21 L=8.46m、L=10.46m 腹起し H-400*400*13*21 L=9.76m、L=11.76m 火打ち H-400*400*13*21 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤5 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機										
構造物掘削 特殊部A（PD１１）			飯沼川高架橋 PD11		鋼矢板Ⅳ型 L=21.00m、L=21.50m 切梁 H-400*400*13*21 L=8.46m、L=10.46m 腹起し H-400*400*13*21 L=9.76m、L=11.76m 火打ち H-400*400*13*21 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤5 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機														
構造物掘削 特殊部A（PD１１）	飯沼川高架橋 PD11	鋼矢板Ⅳ型 L=21.00m、L=21.50m 切梁 H-400*400*13*21 L=8.46m、L=10.46m 腹起し H-400*400*13*21 L=9.76m、L=11.76m 火打ち H-400*400*13*21 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤5 土質区分：土砂Cを想定	電動式ハブ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機																	
- 19 -		- 19 -																		



訂正箇所	正誤区分																				
	誤		正																		
特記仕様書 23-2 構造物掘削 (3) 支払 P20	構造物掘削 特殊部 A ( P D 1 2 )	飯沼川高架橋 PD12	鋼矢板 V L 型 L=24.00m、 L=26.00m 切梁 H-400*400*13*21 L=8.40m、 L=10.40m 腹起し H-400*400*13*21 L=9.70m、 L=11.70m 火打ち H-400*400*13*21 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤5 土質区分：土砂 C を想定	電動式ハﾟｲﾌﾟ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機																	
	構造物掘削 特殊部 A ( P D 2 6 )	飯沼川高架橋 PD26	鋼矢板 III 型 L=10.50m 腹起し H-350*350*12*19 L=10.15m、 10.25m 火打ち H-350*350*12*19 L=1.83m、 L=3.95m、 L=4.94m 環境対策なし Nmax≤10 土質区分：土砂 C を想定	電動式ハﾟｲﾌﾟ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機																	
	構造物掘削 特殊部 A ( P D 2 7 )	飯沼川高架橋 PD27	鋼矢板 IV 型 L=14.50m 切梁 H-300*300*10*15 L=7.06m、 L=7.16m 腹起し H-300*300*10*15 L=8.26m、 L=10.26m H-350*350*12*19 L=8.26m、 L=10.16m 火打ち H-300*300*10*15 L=1.12m、 L=3.95m H-350*350*12*19 L=1.12m、 L=3.95m 環境対策なし Nmax≤1 土質区分：土砂 C を想定	電動式ハﾟｲﾌﾟ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機																	
	(3) 支 払 共通仕様書 2－8－1 に規定する支払に下記を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>2－(6) 構造物掘削</td><td></td></tr><tr><td>特殊部 A ( A D 1 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 5 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 9 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 1 1 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 1 2 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 2 6 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 2 7 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr></table>				単価表の項目	検測の単位	2－(6) 構造物掘削		特殊部 A ( A D 1 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 5 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 9 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 1 1 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 1 2 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 2 6 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 2 7 )
単価表の項目	検測の単位																				
2－(6) 構造物掘削																					
特殊部 A ( A D 1 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 5 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 9 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 1 1 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 1 2 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 2 6 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 2 7 )	m <sup>3</sup>																				
2 3－3 基礎杭 2 3－3－1 場所打ちコンクリート杭の施工 共通仕様書 7－2－4 ( 1 ) に下記項目を追加する。																					
－ 20 －																					

構造物掘削 特殊部 A ( P D 1 2 )	飯沼川高架橋 PD12	鋼矢板 V L 型 L=24.00m、 L=26.00m 切梁 H-400*400*13*21 L=8.40m、 L=10.40m 腹起し H-400*400*13*21 L=9.70m、 L=11.70m 火打ち H-400*400*13*21 L=0.41m 環境対策なし Nmax≤5 土質区分：土砂 C を想定	電動式ハﾟｲﾌﾟ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機																		
構造物掘削 特殊部 A ( P D 2 6 )	飯沼川高架橋 PD26	鋼矢板 III 型 L=10.50m 腹起し H-350*350*12*19 L=10.15m、 10.25m 火打ち H-350*350*12*19 L=1.83m、 L=3.95m、 L=4.94m 環境対策なし Nmax≤10 土質区分：土砂 C を想定	電動式ハﾟｲﾌﾟ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機																		
構造物掘削 特殊部 A ( P D 2 7 )	飯沼川高架橋 PD27	鋼矢板 IV 型 L=14.50m 切梁 H-300*300*10*15 L=7.06m、 L=7.16m 腹起し H-300*300*10*15 L=8.26m、 L=10.26m H-350*350*12*19 L=8.26m、 L=10.16m 火打ち H-300*300*10*15 L=1.12m、 L=3.95m H-350*350*12*19 L=1.12m、 L=3.95m 環境対策なし Nmax≤1 土質区分：土砂 C を想定	電動式ハﾟｲﾌﾟ ロハンマ工法  油圧式杭 圧入引抜機																		
(3) 支 払 共通仕様書 2－8－1 1 に規定する支払に下記を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>2－(6) 構造物掘削</td><td></td></tr><tr><td>特殊部 A ( A D 1 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 5 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 9 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 1 1 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 1 2 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 2 6 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>特殊部 A ( P D 2 7 )</td><td>m<sup>3</sup></td></tr></table>				単価表の項目	検測の単位	2－(6) 構造物掘削		特殊部 A ( A D 1 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 5 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 9 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 1 1 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 1 2 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 2 6 )	m <sup>3</sup>	特殊部 A ( P D 2 7 )	m <sup>3</sup>
単価表の項目	検測の単位																				
2－(6) 構造物掘削																					
特殊部 A ( A D 1 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 5 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 9 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 1 1 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 1 2 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 2 6 )	m <sup>3</sup>																				
特殊部 A ( P D 2 7 )	m <sup>3</sup>																				
2 3－3 基礎杭 2 3－3－1 場所打ちコンクリート杭の施工 共通仕様書 7－2－4 ( 1 ) に下記項目を追加する。																					
－ 20 －																					

訂正箇所	正誤区分																																																
	誤	正																																															
特記仕様書 23-8 仮橋工  23-8-2 種別 P24	鞅管工に使用する材料は、設計図書に示す工場製コンクリートブロックを使用するものとし、製作方法、使用する材料の品質証明書、品質管理体制等を監督員へ提出するものとする。																																																
	2 3－7－3 種 別 鞅管工の種別は、次のとおりとする。																																																
	<table><tr><td>単価表の項目</td><td>区 分</td></tr><tr><td>鞅管工 A</td><td>PD11、PD12 橋脚に設置する鞅管</td></tr></table>		単価表の項目	区 分	鞅管工 A	PD11、PD12 橋脚に設置する鞅管																																											
	単価表の項目	区 分																																															
	鞅管工 A	PD11、PD12 橋脚に設置する鞅管																																															
	2 3－7－4 施 工 鞅管工の施工は、橋脚に損傷を与えないよう慎重に設計図書に示す橋脚との遊間を確保するようコンクリート製ブロックを設置しなければならない。																																																
	2 3－7－5 数量の検測 鞅管工の数量の検測は、設計数量（箇所）で行うものとする。																																																
	2 3－7－6 支 払 鞅管工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 箇所当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うコンクリート製ブロックの製作、運搬、組立、目地材、敷モルタル、据付、土砂流入防止工等鞅管工の施工に要する材料・労務・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。																																																
	<table><tr><td></td><td>単価表の項目</td><td>検測の単位</td></tr><tr><td rowspan="2">特－（2）</td><td>鞅管工</td><td></td></tr><tr><td>鞅管工 A</td><td>箇所</td></tr></table>			単価表の項目	検測の単位	特－（2）	鞅管工		鞅管工 A	箇所																																							
		単価表の項目	検測の単位																																														
特－（2）	鞅管工																																																
	鞅管工 A	箇所																																															
2 3－8 仮橋工 2 3－8－1 定 義 仮橋工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、工事用の仮橋を設置し、工事完了後撤去するもの、または、工事用の仮橋を設置し、使用後上部工工事へ引き渡すことから、撤去せず引き続き存置するものをいう。なお上部工工事とは、本特記仕様書 9．「関連工事に関する事項」に示される「首都圏中央連絡自動車道 本線上部工工事」をいう。																																																	
2 3－8－2 種 別 仮橋工の単価表の項目に示す種別は、下表のとおりとする。																																																	
<table><tr><td colspan="2">単価表の項目</td><td>材料規格</td><td>材料区分</td><td>調達地域</td><td>引渡し予定日</td><td>仮橋設置期間 （本工事計上期間）</td><td>摘要</td></tr><tr><td rowspan="4">仮橋工 A</td><td rowspan="3">設置工</td><td>覆工板</td><td>リース品</td><td>茨城県</td><td rowspan="4">令和6年7月 31日</td><td rowspan="4">令和5年4月中旬～ 令和7年12月の 32.5ヶ月 （令和5年4月中旬～ 令和6年7月の 15.5ヶ月）</td><td rowspan="4">電 動 式 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ工法</td></tr><tr><td>H-350</td><td>リース品</td><td>茨城県</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>中古品</td><td>茨城県</td></tr><tr><td>存置工</td><td>覆工板</td><td>リース品</td><td>茨城県</td></tr><tr><td></td><td></td><td>H-350</td><td>リース品</td><td>茨城県</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">仮橋工 B</td><td rowspan="3">設置工 撤去工</td><td>覆工板</td><td>リース品</td><td>茨城県</td><td rowspan="3">－</td><td rowspan="3">令和5年5月～ 令和6年6月下旬の 14.0ヶ月</td><td rowspan="3">電 動 式 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ工法</td></tr><tr><td>H-400</td><td>リース品</td><td>茨城県</td></tr><tr><td>H-800</td><td>リース品</td><td>千葉県</td></tr></table>		単価表の項目		材料規格	材料区分	調達地域	引渡し予定日	仮橋設置期間 （本工事計上期間）	摘要	仮橋工 A	設置工	覆工板	リース品	茨城県	令和6年7月 31日	令和5年4月中旬～ 令和7年12月の 32.5ヶ月 （令和5年4月中旬～ 令和6年7月の 15.5ヶ月）	電 動 式 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ工法	H-350	リース品	茨城県	上記以外	中古品	茨城県	存置工	覆工板	リース品	茨城県			H-350	リース品	茨城県				仮橋工 B	設置工 撤去工	覆工板	リース品	茨城県	－	令和5年5月～ 令和6年6月下旬の 14.0ヶ月	電 動 式 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ工法	H-400	リース品	茨城県	H-800	リース品	千葉県
単価表の項目		材料規格	材料区分	調達地域	引渡し予定日	仮橋設置期間 （本工事計上期間）	摘要																																										
仮橋工 A	設置工	覆工板	リース品	茨城県	令和6年7月 31日	令和5年4月中旬～ 令和7年12月の 32.5ヶ月 （令和5年4月中旬～ 令和6年7月の 15.5ヶ月）	電 動 式 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ工法																																										
		H-350	リース品	茨城県																																													
		上記以外	中古品	茨城県																																													
	存置工	覆工板	リース品	茨城県																																													
		H-350	リース品	茨城県																																													
仮橋工 B	設置工 撤去工	覆工板	リース品	茨城県	－	令和5年5月～ 令和6年6月下旬の 14.0ヶ月	電 動 式 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ工法																																										
		H-400	リース品	茨城県																																													
		H-800	リース品	千葉県																																													
鞅管工に使用する材料は、設計図書に示す工場製コンクリートブロックを使用するものとし、製作方法、使用する材料の品質証明書、品質管理体制等を監督員へ提出するものとする。																																																	
2 3－7－3 種 別 鞅管工の種別は、次のとおりとする。																																																	
<table><tr><td>単価表の項目</td><td>区 分</td></tr><tr><td>鞅管工 A</td><td>PD11、PD12 橋脚に設置する鞅管</td></tr></table>		単価表の項目	区 分	鞅管工 A	PD11、PD12 橋脚に設置する鞅管																																												
単価表の項目	区 分																																																
鞅管工 A	PD11、PD12 橋脚に設置する鞅管																																																
2 3－7－4 施 工 鞅管工の施工は、橋脚に損傷を与えないよう慎重に設計図書に示す橋脚との遊間を確保するようコンクリート製ブロックを設置しなければならない。																																																	
2 3－7－5 数量の検測 鞅管工の数量の検測は、設計数量（箇所）で行うものとする。																																																	
2 3－7－6 支 払 鞅管工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 箇所当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うコンクリート製ブロックの製作、運搬、組立、目地材、敷モルタル、据付、土砂流入防止工等鞅管工の施工に要する材料・労務・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。																																																	
<table><tr><td></td><td>単価表の項目</td><td>検測の単位</td></tr><tr><td rowspan="2">特－（2）</td><td>鞅管工</td><td></td></tr><tr><td>鞅管工 A</td><td>箇所</td></tr></table>			単価表の項目	検測の単位	特－（2）	鞅管工		鞅管工 A	箇所																																								
	単価表の項目	検測の単位																																															
特－（2）	鞅管工																																																
	鞅管工 A	箇所																																															
2 3－8 仮橋工 2 3－8－1 定 義 仮橋工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、工事用の仮橋を設置し、工事完了後撤去するもの、または、工事用の仮橋を設置し、使用後上部工工事へ引き渡すことから、撤去せず引き続き存置するものをいう。なお上部工工事とは、本特記仕様書 9．「関連工事に関する事項」に示される「首都圏中央連絡自動車道 本線上部工工事」をいう。																																																	
2 3－8－2 種 別 仮橋工の単価表の項目に示す種別は、下表のとおりとする。																																																	
<table><tr><td colspan="2">単価表の項目</td><td>材料規格</td><td>材料区分</td><td>調達地域</td><td>引渡し予定日</td><td>仮橋設置期間 （本工事計上期間）</td><td>摘要</td></tr><tr><td rowspan="6">仮橋工 A</td><td rowspan="3">設置工</td><td>覆工板</td><td>リース品</td><td>茨城県</td><td rowspan="6">令和6年7月 31日</td><td rowspan="6">令和5年4月中旬～ 令和7年12月の 32.5ヶ月 （令和5年4月中旬～ 令和6年7月の 15.5ヶ月）</td><td rowspan="6">電 動 式 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ工法</td></tr><tr><td>H-350</td><td>リース品、中古品</td><td>茨城県</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>中古品</td><td>茨城県</td></tr><tr><td rowspan="3">存置工</td><td>覆工板</td><td>リース品</td><td>茨城県</td></tr><tr><td>H-350</td><td>リース品</td><td>茨城県</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">仮橋工 B</td><td rowspan="2">設置工 撤去工</td><td>覆工板</td><td>リース品</td><td>茨城県</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="2">令和5年5月～ 令和6年6月下旬の</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>H-400</td><td>リース品</td><td>茨城県</td></tr></table>		単価表の項目		材料規格	材料区分	調達地域	引渡し予定日	仮橋設置期間 （本工事計上期間）	摘要	仮橋工 A	設置工	覆工板	リース品	茨城県	令和6年7月 31日	令和5年4月中旬～ 令和7年12月の 32.5ヶ月 （令和5年4月中旬～ 令和6年7月の 15.5ヶ月）	電 動 式 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ工法	H-350	リース品、中古品	茨城県	上記以外	中古品	茨城県	存置工	覆工板	リース品	茨城県	H-350	リース品	茨城県				仮橋工 B	設置工 撤去工	覆工板	リース品	茨城県	－	令和5年5月～ 令和6年6月下旬の		H-400	リース品	茨城県					
単価表の項目		材料規格	材料区分	調達地域	引渡し予定日	仮橋設置期間 （本工事計上期間）	摘要																																										
仮橋工 A	設置工	覆工板	リース品	茨城県	令和6年7月 31日	令和5年4月中旬～ 令和7年12月の 32.5ヶ月 （令和5年4月中旬～ 令和6年7月の 15.5ヶ月）	電 動 式 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ工法																																										
		H-350	リース品、中古品	茨城県																																													
		上記以外	中古品	茨城県																																													
	存置工	覆工板	リース品	茨城県																																													
		H-350	リース品	茨城県																																													
仮橋工 B	設置工 撤去工	覆工板	リース品	茨城県	－	令和5年5月～ 令和6年6月下旬の																																											
		H-400	リース品	茨城県																																													
- 24 -																																																	

訂正箇所	誤							正																			
特記仕様書 23-8 仮橋工  23-8-2 種別 P25			上記以外	中古品	茨城県		(同上)							14.0ヶ月 (同上)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法												
		存置工	覆工板 H-400 H-800	リース品 リース品 リース品	茨城県 茨城県 千葉県					存置工	覆工板 H-400 H-800	リース品 リース品 リース品	茨城県 茨城県 千葉県														
	単価表の項目		材料規格	材料区分	調達 地域	引渡し 予定日	仮橋設置期間 (本工事計上期間)	摘要																			
	仮橋工 C	設置工 撤去工	覆工板 H-400 上記以外	リース品 リース品 中古品	茨城県 茨城県 茨城県	－	令和5年11月～ 令和6年5月の 7.0ヶ月 (同上)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法																			
		存置工	覆工板 H-400	リース品 リース品	茨城県 茨城県																						
	仮橋工 D	設置工	覆工板 H-400 H-594 上記以外	リース品 リース品 リース品 中古品	茨城県 茨城県 茨城県 茨城県	令和5年10月 31日	令和4年11月～ 令和6年5月の 19.0ヶ月 (令和4年11月～ 令和5年10月の 12.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法																			
		存置工	覆工板 H-400 H-594	リース品 リース品 リース品	茨城県 茨城県 茨城県																						
	仮橋工 E	設置工	特殊覆工板	新品	茨城県	令和5年10月 31日	令和4年11月～ 令和6年5月の 19.0ヶ月 (令和4年11月～ 令和5年10月の 12.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法																			
			覆工板	リース品	茨城県																						
			H-350	リース品	茨城県																						
			H-400	リース品	茨城県																						
	仮橋工 E	存置工	H-595	リース品	茨城県	令和5年10月 31日	令和4年11月～ 令和6年5月の 19.0ヶ月 (令和4年11月～ 令和5年10月の 12.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法																			
			H-800	リース品	千葉県																						
			上記以外	中古品	茨城県																						
			上記以外	中古品	千葉県																						
	仮橋工 E	設置工	特殊覆工板	新品	茨城県	令和5年10月 31日	令和4年12月～ 令和5年4月の 5.0ヶ月 (同上)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法																			
			覆工板	リース品	茨城県																						
			プレートガーダー 部材	リース品	茨城県																						
			H-350	リース品	茨城県																						
	仮橋工 F	撤去工	H-400	リース品	千葉県	令和5年10月 31日 (設計図に示 すKP7支持杭 のみ)	※設計図に示す KP7支持杭のみ 令和4年12月～ 令和6年5月の 18.0ヶ月 (令和4年12月～ 令和5年10月の 11.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法																			
			H-800	リース品	茨城県																						
			上記以外	中古品	茨城県																						
			上記以外	中古品	茨城県																						
仮設材について、上表に示す調達地域から調達が困難な場合は、本特記仕様書「25-5 材料 調達に伴う変更」により取り扱うものとする。																											
- 25 -																											

		H-800	リース品	千葉県		14.0ヶ月 (同上)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法
		上記以外	中古品	茨城県			
	存置工	覆工板	リース品	茨城県			
		H-400	リース品	茨城県			
		H-800	リース品	千葉県			
単価表の項目		材料規格	材料区分	調達 地域	引渡し 予定日	仮橋設置期間 (本工事計上期間)	摘要
仮橋工 C	設置工 撤去工	覆工板	リース品	茨城県	－	令和5年11月～ 令和6年5月の 7.0ヶ月 (同上)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法
		H-400	リース品、中古品	茨城県			
	存置工	上記以外	中古品	茨城県			
		覆工板	リース品	茨城県			
仮橋工 D	設置工	H-400	リース品	茨城県	令和5年10月 31日	令和4年11月～ 令和6年5月の 19.0ヶ月 (令和4年11月～ 令和5年10月の 12.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法
		H-594	リース品	茨城県			
	存置工	上記以外	中古品	茨城県			
		覆工板	リース品	茨城県			
仮橋工 E	設置工	H-400	リース品	茨城県	令和5年10月 31日	令和4年11月～ 令和6年5月の 19.0ヶ月 (令和4年11月～ 令和5年10月の 12.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法
		H-594	リース品	茨城県			
		上記以外	中古品	茨城県			
		覆工板	リース品	茨城県			
		H-400	リース品	茨城県			
		H-800	リース品	千葉県			
仮橋工 E	存置工	特殊覆工板	新品	茨城県	令和5年10月 31日	令和4年11月～ 令和6年5月の 19.0ヶ月 (令和4年11月～ 令和5年10月の 12.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法
		覆工板	リース品	茨城県			
		H-350	中古品	茨城県			
		H-400	リース品、中古品	茨城県			
		H-594	リース品	茨城県			
		H-800	リース品、中古品	千葉県			
仮橋工 F	設置工 撤去工	上記以外	中古品	茨城県	令和5年10月 31日 (設計図に示 すKP7支持杭 のみ)	令和4年12月～ 令和5年4月の 5.0ヶ月 (同上)  ※設計図に示す KP7支持杭のみ 令和4年12月～ 令和6年5月の 18.0ヶ月 (令和4年12月～ 令和5年10月の 11.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法
		覆工板	リース品	茨城県			
		H-400	リース品	茨城県			
		H-594	リース品	茨城県			
		H-800	リース品	千葉県			
		上記以外	中古品	茨城県			
仮橋工 F	存置工	覆工板	リース品	茨城県	令和5年10月 31日 (設計図に示 すKP7支持杭 のみ)	令和4年12月～ 令和5年4月の 5.0ヶ月 (同上)  ※設計図に示す KP7支持杭のみ 令和4年12月～ 令和6年5月の 18.0ヶ月 (令和4年12月～ 令和5年10月の 11.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ロ ハ ン マ 工 法
		プレートガー ダー部材	リース品	大阪府			

		H-800	リース品	千葉県		14.0ヶ月 (同上)	電動式 パイプ・ロハ ンマ工法
		上記以外	中古品	茨城県			
	存置工	覆工板	リース品	茨城県			
	存置工	H-400	リース品	茨城県			
	存置工	H-800	リース品	千葉県			

単価表の項目		材料規格	材料区分	調達 地域	引渡し 予定日	仮橋設置期間 (本工事計上期間)	摘要
仮橋工 C	設置工 撤去工	覆工板	リース品	茨城県	－	令和5年11月～ 令和6年5月の 7.0ヶ月 (同上)	電 動 式 パ イ プ ・ ロ ハ ン マ 工 法
		H-400	リース品、中古品	茨城県			
		上記以外	中古品	茨城県			
	存置工	覆工板	リース品	茨城県			
		H-400	リース品	茨城県			
仮橋工 D	設置工	覆工板	リース品	茨城県	令和5年10月 31日	令和4年11月～ 令和6年5月の 19.0ヶ月 (令和4年11月～ 令和5年10月の 12.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ・ ロ ハ ン マ 工 法
		H-400	リース品	茨城県			
		H-594	中古品	茨城県			
		上記以外	中古品	茨城県			
	存置工	覆工板	リース品	茨城県			
		H-400	リース品	茨城県			
仮橋工 E	設置工	特殊覆工板	新品	茨城県	令和5年10月 31日	令和4年11月～ 令和6年5月の 19.0ヶ月 (令和4年11月～ 令和5年10月の 12.0ヶ月)	電 動 式 パ イ プ ・ ロ ハ ン マ 工 法
		覆工板	リース品	茨城県			
		H-350	中古品	茨城県			
		H-400	リース品、中古品	茨城県			
		H-594	リース品	茨城県			
		H-800	リース品、中古品	千葉県			
		上記以外	中古品	茨城県			
	存置工	覆工板	リース品	茨城県			
		H-400	リース品	茨城県			
		H-594	リース品	茨城県			
		H-800	リース品	千葉県			
仮橋工 F	設置工 撤去工	特殊覆工板	新品	茨城県	令和5年10月 31日 (設計図に示 すKP7支持杭 のみ)	令和4年12月～ 令和5年4月の 5.0ヶ月 (同上)	電 動 式 パ イ プ ・ ロ ハ ン マ 工 法
		覆工板	リース品	茨城県			
		プレートガー ダー部材	リース品	大阪府			
		H-350	中古品	茨城県			
		H-400	リース品、中古品	茨城県			
		H-800	リース品、中古品	千葉県			
		上記以外	中古品	茨城県			
	存置工	覆工板	リース品	茨城県		※設計図に示す KP7支持杭のみ 令和4年12月～ 令和6年5月の 18.0ヶ月 (令和4年12月～ 令和5年10月の	
		プレートガー ダー部材	リース品	大阪府			



訂正箇所	正誤区分																																				
	誤	正																																			
特記仕様書 23-8 仮橋工  23-8-2 種別 P26	<p>また、受注者の責によらず、仮橋工の設置期間に大幅な変更が生じた場合は、これに要する費用について監督員と協議し定めるものとする。</p> <p>なお、上表における仮橋設置期間とは、本工事による設置開始から撤去完了までの期間、または本工事による設置開始から、使用後、他工事に引き渡され、他工事において撤去完了までの期間をいう。また、本工事計上期間とは、本工事におけるリース品の賃料計上期間をいう。</p> <p>2 3－8－3 施 工</p> <p>受注者は、施工に先立ち必要な品質規格を満足している仮設材料であることを確認のうえ、仮設構造物工指針（社団法人 日本道路協会）に基づき施工しなければならない。</p> <p>また、当該仮橋の引渡しについては、他工事受注者と立会の上、引渡すものとする。</p> <p>杭橋脚の施工において、監督員が必要と認めて施工方法を変更した場合については、その指示に従うものとし、これに要する費用について監督員と協議し定めるものとする。</p> <p>仮橋工 F の KP7 支持杭については、設計図に示す箇所に継手を設け、河床付近の継手より下部については存置し、他工事に引渡すものとする。</p> <p>2 3－8－4 数量の検測</p> <p>（１）仮橋工設置工及び撤去工の数量の検測は、設計数量（t）で行うものとする。</p> <p>（２）仮橋工存置工の数量の検測は設置完了後から撤去開始までの供用日数（日）で行うものとする。</p> <p>2 3－8－5 支 払</p> <p>仮橋工の支払は、前項の規定に従って検測された仮橋工の数量に対し、1 t または 1 日当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う仮橋の設置、材料費（購入及び賃料）、修理損耗費、スクラップ控除費、処分場までの運搬・積込・取卸し費、撤去等仮橋工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p>	<table><tr><td></td><td></td><td>H-400</td><td>リース品</td><td>茨城県</td><td></td><td>11.0ヶ月)</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>H-800</td><td>リース品</td><td>千葉県</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>仮橋工の設置に係る材料のうち、ボルト類については新品とする。</p> <p>仮設材について、上表に示す調達地域から調達が困難な場合は、本特記仕様書「2 5－5 材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。</p> <p>上表に示すリース品及び中古品の材料区分については、下表のとおりとする。</p> <table><tr><td></td><td>品名</td><td>規格</td><td>リース品（m）</td><td>中古品（m）</td></tr><tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">H形鋼</td><td>H-3 5 0</td><td>6 m以上</td><td>6 m未満</td></tr><tr><td>H-4 0 0</td><td>6 m以上</td><td>6 m未満</td></tr><tr><td>H-5 9 4</td><td>7 m以上</td><td>7 m未満</td></tr><tr><td>H-8 0 0</td><td>8 m以上</td><td>8 m未満</td></tr></table> <p>また、受注者の責によらず、仮橋工の設置期間に大幅な変更が生じた場合は、これに要する費用について監督員と協議し定めるものとする。</p> <p>なお、上表における仮橋設置期間とは、本工事による設置開始から撤去完了までの期間、または本工事による設置開始から、使用後、他工事に引き渡され、他工事において撤去完了までの期間をいう。また、本工事計上期間とは、本工事におけるリース品の賃料計上期間をいう。</p> <p>2 3－8－3 施 工</p> <p>受注者は、施工に先立ち必要な品質規格を満足している仮設材料であることを確認のうえ、仮設構造物工指針（社団法人 日本道路協会）に基づき施工しなければならない。</p> <p>本工事で設置した仮橋について、撤去・引渡しまでは善良な管理を行うものとする。</p> <p>また、当該仮橋の引渡しについては、他工事受注者と立会の上、引渡すものとする。</p> <p>杭橋脚の施工において、監督員が必要と認めて施工方法を変更した場合については、その指示に従うものとし、これに要する費用について監督員と協議し定めるものとする。</p> <p>仮橋工 F の KP7 支持杭については、設計図に示す箇所に継手を設け、河床付近の継手より下部については存置し、他工事に引渡すものとする。</p> <p>2 3－8－4 数量の検測</p> <p>（１）仮橋工設置工及び撤去工の数量の検測は、設計数量（t）で行うものとする。</p> <p>（２）仮橋工存置工の数量の検測は設置完了後から撤去開始までの供用日数（日）で行うものとする。</p> <p>2 3－8－5 支 払</p> <p>仮橋工の支払は、前項の規定に従って検測された仮橋工の数量に対し、1 t または 1 日当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う仮橋の設置、材料費（購入及び賃料）、修理損耗費、スクラップ控除費、処分場までの運搬・積込・取卸し費、撤去等仮橋工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p>			H-400	リース品	茨城県		11.0ヶ月)				H-800	リース品	千葉県					品名	規格	リース品（m）	中古品（m）		H形鋼	H-3 5 0	6 m以上	6 m未満	H-4 0 0	6 m以上	6 m未満	H-5 9 4	7 m以上	7 m未満	H-8 0 0	8 m以上	8 m未満
			H-400	リース品	茨城県		11.0ヶ月)																														
			H-800	リース品	千葉県																																
		品名	規格	リース品（m）	中古品（m）																																
		H形鋼	H-3 5 0	6 m以上	6 m未満																																
			H-4 0 0	6 m以上	6 m未満																																
			H-5 9 4	7 m以上	7 m未満																																
			H-8 0 0	8 m以上	8 m未満																																

## 飯沼川高架橋（下部工）西工事 数量総括表

工 種	種 別	単位	A01	P01	P02	P03	P04	P05	P06	P07	P08	P09	P010	P011	P012	P013	P014	P015	P016	P017	P018	P019	P020	P021	P022	P023	P024	P025	P026	P027	合計	備 考			
構造等関係	普通部	m <sup>2</sup>	-	228.9	393.4	479.9	391.0	-	391.5	618.0	391.0	-	396.5	-	-	271.1	134.3	123.1	123.9	121.7	191.8	272.6	271.2	585.4	215.6	448.8	459.0	491.9	-	-	6,800.6				
	特殊部A	m <sup>2</sup>	200.0	-	-	-	-	266.2	-	-	-	305.6	-	606.9	853.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	323.8	482.6	3,040.1				
基礎材	B	m <sup>3</sup>	8.2	7.8	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	10.8	10.6	16.7	17.5	10.6	7.1	6.3	6.3	6.3	10.6	10.6	10.6	10.6	7.8	13.3	13.3	13.3	10.6	10.6	289.4	RC-C-40			
鉄骨杭工	場所打ちコンクリート杭	m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	324.0	255.0	231.0	219.0	231.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,260.0				
コンクリート	鋼管杭φ800	m	252.0	480.0	624.0	464.0	464.0	688.0	608.0	704.0	624.0	760.0	608.0	885.5	804.0	656.0	-	-	-	-	592.0	592.0	592.0	592.0	456.0	700.0	680.0	704.0	544.0	504.0	14,131.5				
	A1-3	m <sup>2</sup>	121.2	58.4	52.0	69.2	70.4	75.6	76.4	114.3	83.9	80.3	124.7	129.8	86.1	83.1	120.7	81.1	82.3	81.3	80.5	78.4	74.4	113.6	64.2	71.2	70.4	64.2	67.0	3,242.7	cr-ek-30N/mm <sup>2</sup>				
	B2-1-C	m <sup>2</sup>	84.9	89.7	-	-	-	120.5	121.4	-	121.1	128.7	-	189.3	198.5	121.1	78.6	66.1	66.1	66.1	121.5	121.4	-	88.2	-	-	-	-	-	-	1,977.7	cr-ek-24N/mm <sup>2</sup>			
	B2-1-C	m <sup>2</sup>	-	-	-	-	140.7	140.8	141.0	-	-	-	-	140.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	141.1	-	177.7	177.5	1,517.9	cr-ek-30N/mm <sup>2</sup>			
	D1-1	m <sup>2</sup>	4.1	3.9	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.4	5.3	8.3	8.8	5.3	3.6	3.2	3.2	3.2	5.3	5.3	5.3	3.9	6.6	6.6	6.6	5.3	5.3	144.8	cr-ek18N/mm <sup>2</sup>			
型枠	C	m <sup>2</sup>	254.2	133.2	147.9	164.5	166.1	162.1	164.4	174.3	183.4	177.3	180.1	224.5	233.7	178.7	168.3	177.4	161.1	162.9	161.5	171.8	168.3	171.7	179.7	176.3	176.1	174.5	163.8	312.1	5,069.9				
	D	m <sup>2</sup>	2.9	2.7	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	3.9	4.0	3.1	2.8	2.6	2.6	2.6	2.6	3.1	3.1	3.1	2.7	3.5	3.5	3.1	3.1	86.5				
鉄 筋	A	重ね継手	D1-3	t	0.464	0.576	1.472	1.472	1.104	0.768	0.912	1.248	1.380	1.472	1.794	1.872	1.248	-	-	-	-	0.768	0.768	1.472	0.468	1.840	1.840	1.840	1.296	0.672	28.248	S-D345 杭頭部を含む			
			D16-D25	t	6.086	5.030	6.577	6.401	6.406	5.962	6.004	6.576	10.225	6.106	6.420	7.917	16.796	6.724	5.999	9.941	5.491	6.578	5.955	7.291	7.471	6.717	9.837	7.181	7.648	7.107	6.568	10.065	207.069	※	
			D29-D32	t	3.407	3.924	1.161	3.548	3.548	10.272	3.020	0.990	2.171	12.123	2.436	21.344	-	1	946	968	933	5.271	2.615	3.408	4.008	4.008	1.154	1.504	1.154	1.172	4.608	104.328	※		
			D35	t	3.293	6.081	4.101	2.340	2.475	2.340	6.064	4.101	11.441	8.810	8.369	-	13.656	13.822	3.231	-	0.901	4.132	4.065	14.168	11.531	0.601	-	11.748	10.588	12.778	3.070	-	162.448	※	
			D38	t	-	-	2.946	1.840	1.840	1.840	5.308	3.840	-	4.125	2.437	5.988	6.180	10.375	1.210	-	4.991	1.840	1.840	-	2.877	4.712	-	-	1.840	-	4.627	2.784	71.340	※	
	D41	t	-	-	2.180	-	-	-	-	3.450	-	2.180	-	-	-	-	-	4.394	1.430	2.180	-	-	-	-	-	5.630	1.430	2.180	-	2.589	2.240	-	29.474	※	
	合 計	t	13.280	15.611	18.437	15.601	15.741	21.518	21.164	17.781	25.085	34.724	31.134	37.043	38.504	34.115	23.621	13.466	16.434	15.165	15.513	22.635	23.055	20.263	14.303	24.103	22.430	25.189	18.963	118.602	907				
	A1	重ね継手	D35	t	-	-	-	10.864	10.864	10.864	-	-	-	-	7.248	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.580	13.580	13.580	-	-	8.288	-	17.312	S-D490
			合 計	t	-	-	-	10.864	10.864	10.864	-	-	-	-	-	7.248	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.864	-	13.580	13.580	13.580	8.288	-	108.756	※
	B	ガス圧継手	D35	t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.946	2.946	1.803	-	-	7.695	-	7.695	S-D345
合 計			t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.946	2.946	1.803	-	-	7.695	-	7.695	※	
C	機械式 筋筋固定	D1-3	t	0.041	0.180	-	0.281	0.328	0.281	-	0.349	-	-	-	-	-	-	-	0.029	0.029	0.029	0.281	0.263	0.349	0.032	-	-	-	-	0.050	2.522				
		D16-D25	t	0.723	0.884	2.833	1.104	1.136	1.199	1.671	1.262	2.586	3.600	5.148	9.542	9.294	4.965	3.854	2.315	2.185	1.853	1.807	1.757	1.710	2.041	1.822	7.132	6.792	7.091	1.611	2.237	97.122	※		
		D29-D32	t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.536	※		
		合 計	t	0.764	1.064	2.833	1.385	1.464	1.480	1.671	1.611	2.586	3.600	5.148	9.542	9.294	4.965	3.854	2.315	2.214	1.882	1.836	2.038	1.973	2.350	1.854	7.132	6.792	7.091	1.611	2.237	97.122	※		
Y	重ね継手	D16-D25	t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.528	8.982	8.154	7.746	8.154	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49.564	※			
		D29-D32	t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.698	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.698	※		
		合 計	t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	114.618	※		
はく落対策工	A	m <sup>3</sup>	-	3.6	3.9	4.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.5				
管壁工	A	m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0				

14,279.5

14,131.5

正

首都圏中央連絡自動車道 飯沼川高架橋（下土工）西工事				
図面の種類	数量総括表			
縮 尺	図示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所			